



ターボ HD H1Tシリーズバレットカメラ

ユーザーマニュアル

UD03834B

ユーザーマニュアル

弊社の製品をご購入いただきありがとうございます。ご質問、ご要望がございましたら、お気軽に販売店にお問い合わせください。

このマニュアルは以下に対応します

タイプ	モデル
タイプ I Iカメラ	DS-2CE16H1T-IT
タイプ II IIカメラ	DS-2CE16H1T-IT1
	DS-2CE16H1T-IT3
	DS-2CE16H1T-IT5

このマニュアルに技術的に不正確な点や印刷上の問題がある場合があります。内容は通知なしに変更される可能性があります。更新はこのマニュアルの改版時に追加されます。弊社では、マニュアルに記載された製品や手順は迅速に改善・更新していきます。

規制情報

FCC 情報

FCC 準拠: この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定される、デジタル デバイスの制限に適合することが確認されています。これらの制限は、商業環境で装置を運用する際に、有害な干渉に対して妥当な保護を提供するように設計されています。この装置は電波を発生または使用し、無線周波数エネルギーを放射する可能性があり、取扱説明書にしたがって設置および使用しなかった場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。住宅地域でこの装置を運用する場合、有害な干渉を引き起こす可能性があり、その場合はユーザ側の負担で干渉に対処する必要があります。

FCC 条件

このデバイスは、FCC ルール Part 15 に準拠しています。運用は以下の 2 つの条件にしたがうものとします:

1. このデバイスが有害な干渉を引き起こす可能性がない。
2. この機器は、想定外の動作を引き起こす可能性のあるものも含め、あらゆる干渉を受け入れなければならない。

EU 適合宣言



この製品は—該当する場合には提供される備品も含めて—、「CE」マークの認定を受けており、低電圧指令 2006/95/EC および EMS 指令 2004/108/EC に規定される、関連する統合欧州規格に適合しています。



2002/96/EC (WEEE 指令): この記号が付いている製品は、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できません。適切にリサイクルするために、本製品は同等の新しい装置を購入する際に、お近くの販売業者に返却いただくか、指定された収集場所で処分してください。詳細については次の URL を参照してください:
www.recyclethis.info



2006/66/EC (バッテリー指令): 本製品には、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できないバッテリーが含まれています。特殊バッテリー情報に関する製品資料をご覧ください。バッテリーにはこの記号が付いており、カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、水銀 (Hg) を示す文字も記載されています。適切にリサイクルするために、販売業者か、指定された収集場所にご返却ください。より詳細な情報については以下をご確認ください:
www.recyclethis.info

カナダ産業省 ICES-003 準拠

本装置は CAN ICES-3 (A) / NMB-3 (A) 基準要件を満たしています。



安全指導

これらの指示は、ユーザーが製品を正しく使用して、危険や財産の損失を避けるためのものです。

予防措置は、「警告」と「注意」に分かれています。

警告：警告のいずれかが無視された場合、深刻な傷害または死亡が生じることがあります。

注意：注意のいずれかが無視されると、傷害または装置の損傷が生じることがあります。

	
警告： 深刻な傷害または死亡が生じることがあります	注意： 傷害または装置の損傷が生じることがあります。



警告

- ・本製品を使用するにあたっては、国や地域の電気安全規制を遵守している必要があります。
 - ・詳細については、技術仕様を参照してください。
 - ・入力電圧は、SELV (Safety Extra Low Voltage) と IEC60950-1規格に準拠した24 V ACまたは12 V DCの制限付き電源の両方を満たす必要があります。詳細については、技術仕様を参照してください。
 - ・アダプターの過負荷は過熱または火災の危険を引き起こす可能性があるため、複数のデバイスを1つの電源アダプターに接続しないでください。
 - ・プラグが電源ソケットにしっかりと接続されていることを確認してください。
- 製品を壁や天井に設置する場合は、装置をしっかりと固定してください。
- ・装置から煙、異臭、騒音が発生した場合は、すぐに電源を切り、電源ケーブルを抜き、サービスセンターに連絡してください。
 - ・製品が正常に動作しない場合は、販売店または最寄りのサービスセンターにご連絡ください。自分でカメラを分解しないでください。（不正な修理やメンテナンスに起因する問題については一切責任を負いません。）



注意

- ・カメラを使用する前に、電源電圧が正しいことを確認してください。
- ・カメラを落としたり、物理的な衝撃を与えないでください。
- ・指でセンサーモジュールに触れないでください。清掃が必要な場合は、少々のエタノールで清潔な布を使用し、軽く拭きます。長期間カメラを使用しない場合は、センサーを汚れから保護するためにレンズキャップを交換してください。
- ・カメラを日光や明るすぎる場所に向けないでください。

さい。そうでなければブルーミングまたはスミアが発生してもよく（故障ではない）、センサの耐久性に同時に影響します。

- ・センサはレーザ光によって焼損する場合がありますので、レーザ装置を使用している場合は、センサ面がレーザ光に当たらないようにしてください。
- ・極端に暑いところ、寒いところ、埃の多いところ、湿気の多い場所にカメラを置かないでください。また、電磁波が輻射しないようにしてください。
- ・熱が蓄積されないように、作業環境には換気が必要です。
- ・使用中はカメラを液体から離してください。
- ・納品中、カメラは元の梱包、または同じテクスチャの梱包で梱包されます。
- ・バッテリーの不適切な使用または交換は、爆発の危険をもたらす可能性があります。同じまたは同等のタイプのみで交換してください。使用済みのバッテリーは、バッテリーの製造元の指示に従って廃棄してください。

1 概要

1.1 製品の特長

このシリーズのカメラには、高性能センサーと高度なプリント基板設計技術を搭載しています。高解像度、低歪み、低ノイズなどを特長としており、監視システム、画像処理システムに最適です。

主な特長は以下の通りです：

- 高性能 CMOS センサーと高解像力による高品質な映像；
- 低照明、0.01 Lux @ (F1.2、AGC ON)、0 Lux (IR)；
- 自動切り替え式赤外線カット フィルタ；
- 設定可能な OSD メニュー、パラメータ；
- 自動ホワイトバランス、内部同期；
- スマート IR モード；
- 広ダイナミックレンジ；
- 様々な設置要件に対応する先進的な 3 軸設計

1.2 オーバービュー

注：

このマニュアルは2種類のタイプに適用されます。各タイプの概要は以下の通りです。

1.2.1 タイプIカメラの概要

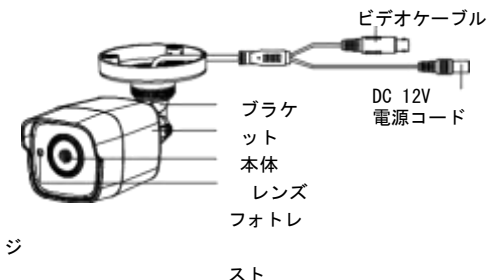


図 1-1 タイプIカメラの概要

1.2.2 タイプIIカメラの概要

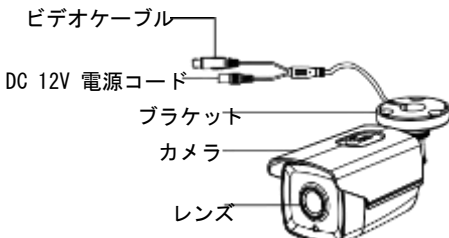


図 1-2 タイプIIカメラの概要

2 インストール

始める前に:

- ・パッケージの中の機器の状態に問題がなく、すべての組立部品が含まれていることを確認してください。
- ・設置の際は、すべての関連装置の電源がオフになっていることを確認してください。
- ・設置環境に関連する製品の仕様をチェックしてください。
- ・損傷を避けるため、電源供給が必要な出力に適合していることを確認してください。
- ・壁面が、カメラとマウント部品の重量の三倍の重量に耐えられる十分な強度を持っていることを確認してください。
- ・壁面がセメントの場合、カメラの取付前に拡張ネジを打ち込む必要があります。壁面が木製の壁である場合、セルフ タッピング ネジを利用してカメラを固定することができます。
- ・製品が正しく機能しない場合、販売店または最寄りのサービスセンターに連絡してください。修理や保守のためにカメラを自分自身で分解しないでください。

2.1 タイプIカメラの設置

2.1.1 配線ボックスを使わない天井/壁マウント取付

方法:

1. ドリルテンプレート（付属）をカメラを取り付ける場所に貼り付けます
2. ドリルテンプレートに従って、ネジ穴とケーブル穴（オプション）を天井/壁にドリルします。

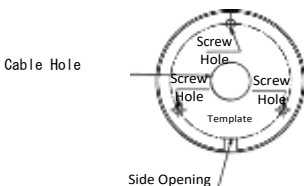


図 2-1 ドリルテンプレート

注:

- 天井のコンセントを使用してケーブルを配線するときは、ケーブルの穴を掘ってください。
3. ブラケットを天井/壁に取り付け、付属のネジでカメラを固定します。



図 2-2 カメラを天井に固定する

注:

・付属のスクリューパッケージには、タッピングねじと拡張ブロットの両方が入っています。

・天井/壁がセメントの場合は、カメラを固定するために拡張ブロットが必要です。天井/壁が木製の場合は、セルフタッピングネジが必要です。

4. ケーブルをケーブルの穴または側面に通します
 5. 対応する電源コードとビデオを接続します
 6. カメラの電源を入れて画像の有無を確認します
 モニター上の最適な角度から得られます。もしそうでない場合は、下の図に従ってカメラを最適な角度に調整してください。

- 1) パンの位置[0° ~360°]を調整するには、Pネジを緩めます。調整が完了したら、ネジを締めてください。
- 2) Tネジをゆるめてチルト位置を調整します(0° ~90°)。調整が完了したら、ネジを締めてください。
- 3) Rネジを緩め、カメラを[0° ~360°]回転させます。調整が完了したら、ネジを締めてください。

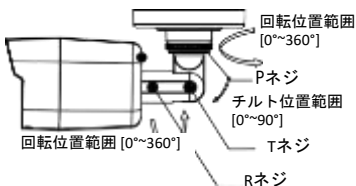


図 2-3 3軸調整

2.1.2 配線ボックスを使う天井/壁マウント取付

注:

天井マウントを行う場合は、別売の配線ボックスをお求めください。

方法:

1. ドリルテンプレートを天井/壁に貼り付けます。
2. ドリルテンプレートの穴に従ってネジ穴とケーブル穴を天井/壁にドリルします。

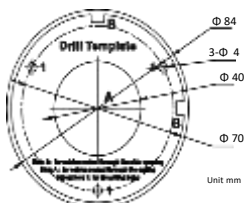


図 2-4 ドリルテンプレート

3. 配線ボックスをはずし、バレットカメラのネジ穴を配線ボックスのカバーに合わせます。
4. 付属のネジを使用して、配線ボックスのカバーにカメラを固定します。

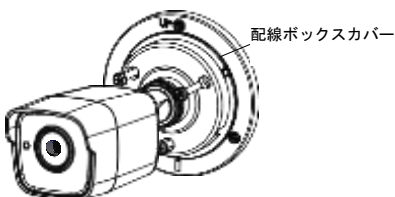


図 2-5 カメラを配線ボックスカバーに固定

5. 配線ボックスのネジ穴を合わせて、配線ボックス本体を天井/壁に取り付けます。
6. 配線ボックスの本体を付属のネジで天井/壁に固定します。

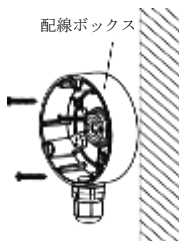


図 2-6 配線ボックスを壁/天井に固定する

7. ケーブルをケーブル穴または配線ボックスの側面開口部に通します。
8. 配線ボックスのカバーを本体に結合します。

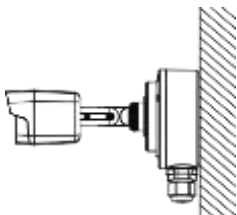


図 2-7 配線ボックスカバーと本体を固定

9. 2. 1. 1天井/壁掛け配線ボックスなしの手順5と6を繰り返して取り付けを完了します。

2.2 タイプIIカメラの設置

2.2.1 配線ボックスを使わない天井/壁マウント取付

方法:

1. ドリルテンプレート（付属）をカメラを固定したい場所に貼り付けます。
2. ドリルテンプレートに従ってネジ穴をドリルし、ケーブル穴（オプション）を天井にドリルします。



図 2-8 ドリルテンプレート

注:

天井のコンセントを使用してケーブルを配線するときは、ケーブルの穴を掘ります。

3. ケーブルをケーブルの穴（オプション）または側面の開口部に通します。

4. 付属のネジでカメラを天井に固定します。



図 2-9カメラを天井に固定する

注:

- 付属のスクリーパッケージには、タッピングねじと拡張ブロットの両方が入っています。
- 天井/壁がセメントの場合は、カメラを固定するために拡張ブロットが必要です。天井/壁が木製の場合は、セルフタッピングネジが必要です。

5. 対応する電源コードとビデオケーブルを接続します。

6. カメラの電源を入れて、モニター上の画像が最適な角度かどうかを確認します。そうでない場合は、監視角度を調整します。

1) No. 1の調整ネジをゆるめ、パン位置[0° ~360°]を調整します。

2) No. 1調整ねじを締めます。

3) 2番の調整ねじをゆるめ、傾動位置[0° ~90°]を調整します。

4) 2番の調整ねじを締めます。

5) No. 3調整ねじをゆるめ、回転位置[0° ~360°]を調整します。

6) No. 3調整ねじを締めます。

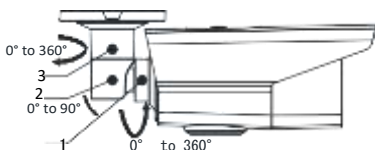


図 2-10 3軸調整

2.2.2 配線ボックスによる天井/壁掛け

注:

天井マウントを行う場合は、別売の配線ボックスをお求めください。

方法:

1. ドリルテンプレート天井/壁に貼り付けます。
2. ドリルテンプレートの穴に合わせてネジ穴とケーブル穴を天井/壁にドリルします。
3. ジャンクションボックスをはずし、弾丸カメラのネジ穴をジャンクションボックスのカバーに合わせます。
4. 付属のネジ3本でジャンクションボックスのカバーにカメラを固定します。
5. ジャンクションボックスの本体を付属のネジで天井/壁に固定します。



図 2-11 配線ボックスのインストール

6. ケーブルの穴またはジャンクションボックスの側面開口部にケーブルを通します。

7. ジャンクションボックスカバーをジャンクションボックスのカバーに付属のネジで本体と結合します。

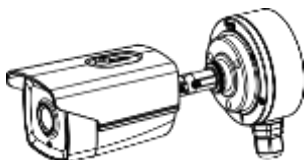


図 2-12 配線ボックスのカバーと本体の結合

8. 2.2.1天井/壁掛けジャンクションボックスなしの手順5と6を繰り返して取り付けを完了します。

3 メニューの内容

目的:



PTZインターフェースの  ボタンをクリックしてメニューを呼び出すか、プリセットNo. 95を呼び出します。



図 3-1 接続

方法:

1. 図3-1に示すように、カメラをTVI DVRとモニターに接続します。
2. アナログカメラ、TVI DVR、モニターの電源を入れて、モニターに画像を表示します。
3. PTZコントロールをクリックして、PTZコントロールインターフェイスに入ります。
4.  ボタンをクリックしてカメラメニューを呼び出すか、プリセット番号95を呼び出します。
5. 方向矢印をクリックしてカメラを制御します。
 - (1) 上下ボタンをクリックして項目を選択します。
 - (2) Iris +をクリックして選択を確定します。
 - (3) 左/右方向ボタンをクリックして、選択した項目の値を調整します。

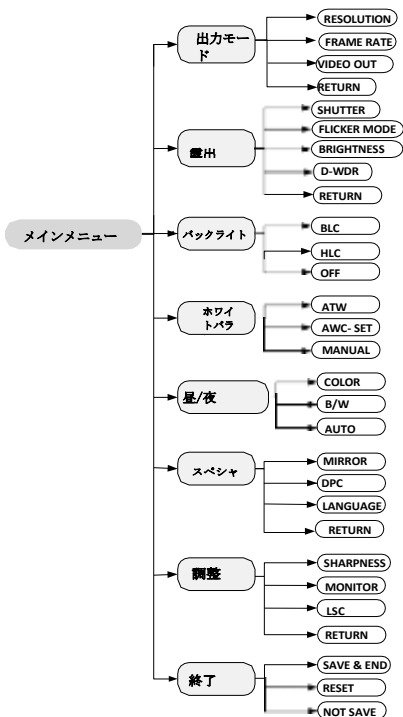


図 3-2 メインメニューの概要

3.1 出力モード

出力モードサブメニューでは、解像度、フレームレート、ビデオ出力を設定できます。

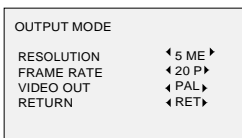


図 3-3 AE

解像度

解像度は、画像上に表示できる画素数を示します。解像度は5メガピクセルまたは4メガピクセルに設定できます。値が大きいほど、画像が細かくなります。

フレームレート

フレームレートとは、1秒間に出力される画像の数を指します。

解像度が5メガピクセルに設定されている場合、フレームレートを20 fpsまたは12.5 fpsに設定することができます。

解像度が4メガピクセルに設定されている場合、フレームレートを25 fpsまたは30 fpsに設定することができます。

ビデオ出力

PAL

(Phase Alternating Lines) は、ほとんどの国の放送テレビシステムで使用されるアナロ

グテレビ用のカラーエンコーディングシステムです。

NTSC

(National Television System Committee) は、北米、南米、ミャンマー、韓国などのほとんどの地域で使用されているアナログテレビシステムです。

3.2 露出

露出は輝度関連のパラメータを記述します。シャッターフリッカーモード、AGC、明るさ、およびD-WDRを使用して、画像の明るさを調整できます。

EXPOSURE	
SHUTTER	◀ AUTO ▶
FLICKER MOD	◀ OFF ▶
AGC	◀ 10 ▶
BRIGHTNESS	◀ 37 ▶
D-WDR	◀ AUTO ▶
RETURN	◀ RET ▶

図 3-4 露出

シャッター

シャッターは、シャッターの速度を示します。

PAL : AUTO、1/25秒、1/50秒、FLK、1/200秒、1/400秒、1/1秒、

1 / 2k s、1 / 5k s、1 / 10k s、1 / 50k sを選択できます。

NTSC : AUTO、1/30秒、1/60秒、FLK、1/240秒、1/480秒、1/1秒、

1 / 2k s、1 / 5k s、1 / 10k s、1 / 50k sを選択できます。

フリッカーモード

フリックモードをONに設定すると、ビデオ出力に互換性がないときに画像がちらつくのを防ぐことができます。

AGC

これは、カメラが自動的に画像出力信号をブーストして、不十分な光条件での画像の明瞭さを最適化する増幅形式です。AGC値は0~15に設定できます。値を0に設定すると、AGCは無効になります。

輝度

明るさとは、画像の明るさを指します。明るさの値を1から10に設定して、画像を暗くしたり明るくしたりすることができます。値が大きいほど、画像が明るくなります。

D-WDR

デジタルワイドダイナミックレンジは、バックライト状況下でもカメラが鮮明な画像を提供するのに役立ちます。視界内に非常に明るい領域と非常に暗い領域が同時に存在する場合、D-WDRは画像全体の輝度レベルのバランスをとり、詳細を明確に示します。

バックライト環境下で画質を向上させるには、D-WDRをONに設定します。

機能を無効にするには、D-WDRをOFFに設定します。

3.3 バックライト

バックライトは、バックライトや高輝度環境に適用できません。バックライトは、BLC、HLC、またはOFFとして設定できます。

BLC

バックライト補正：強いバックライトがある場合、バックライトの前のオブジェクトはシルエットまたは暗い表示されます。背面領域に基づいて、BLCは画像全体の明るさを向上させ、強いバックライト内の領域をはっきりと見ることを可能にするが、バックライト領域は過剰露出する。

HLC

High Light Compensation (ハイライト補正)：通常はシーン全体に広がる強い光源をマスクします。これにより、通常隠されている画像の詳細を見ることができます。

3.4 WB (ホワイトバランス)

ホワイトバランスは、環境に応じて色温度を調整するためのカメラの白色演出機能です。それはイメージの非現実的な色のキャストを取り除くことができます。

MANUAL、**ATW** (オートトラッキングホワイトバランス)、

AWC→SETを選択できます。

マニュアル

R GAIN / B GAINの値を0~255に設定すると、画像の赤/青の色合いを調整できます。

ATW

ATWモードでは、シーンの照明の色温度に応じてホワイトバランスが自動的に調整されます。

AWC→SET

ATWと同様にAWC→SETが選択されているとシーンに応じてホワイトバランスがリアルタイムで連続的に調整されますが、シーンが変更された場合はAWC→SETに移動して新しいシーンに適したホワイトバランスを取得する必要があります。

3.5 昼/夜

昼/夜スイッチでは、カラー、白黒、オートが選択できます。

COLOR：画像は常に昼間モードで色付けされています。白黒：常に白黒の画像であり、暗い場所ではIR LEDが点灯します。

AUTO：光の状態に応じて、カラーからB / WまたはB / Wからカラーに自動的に切り替わります。また、異なるイルミネーションに応じてIR LEDをオンまたはオフにすることもできます。

3.6 スペシャル

SPECIALサブメニューでは、MIRROR、DPC (Defective Point Correction)、および言語を設定できます。

MIRROR

OFF、H-FLIP、V-FLIP、およびRORATE

OFF：ミラー機能が無効になります。

H-FLIP：画像が水平方向に180度反転します。

V-FLIP：画像が垂直に180度反転します。回転：画像は水平方向と垂直方向に180度反転します。

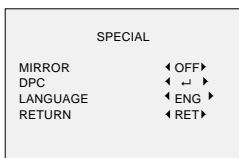


図 3-5 SPECIAL

DPC

欠陥画素は、欠陥画素が光レベルを正しく感知できないデジタルカメラのCCDまたはCMOSイメージセンサー内の画素である。この一連のカメラは欠陥ピクセル補正をサポートしています。カーソルをDCPに移動し、Iris +をクリックして欠陥のあるピクセル補正インターフェイスに入ります。LIVE DPC、WHITE DPC、BLACK DPCはこのセクションで調整可能です。

LIVE DPC：ダイナミックまたはDPCを検出して修正します。

使用中にリアルタイムで欠陥のあるピクセルが発生します。ON、OFFを選択できます。LIVE DPCがONに設定されている場合は、0~255の補正レベルを設定できます。ライブの欠陥画素補正を無効にするには、OFFに設定します。

白DPC：白DPCは、完全に白く見えるCCDまたはCMOSセンサー上のピクセルです。カーソルを白いDPCに移動し、Iris +を押して白いDPC設定インターフェイスに入ります。

黒DPC：黒DPCは、完全に黒く見えるCCDまたはCMOSセンサー上のピクセルです。カーソルを白いDPCに移動し、Iris +を押して黒色のDPC設定インターフェイスに入ります。

言語

英語と中国語をサポートします。

3.7 調整

調整サブメニューでは、シャープネス、モニター、LSC（レンズシェーディング補正）などの調整ができます。

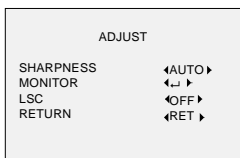


図 3-6 ADJUST

シャープネス

シャープネスは、イメージングシステムが再現できる細部の量を決定します。また、シャープネスを0から15まで調整することができます。値が大きいほど、画像がシャープに表示されます。

モニター

ガンマ、ブルーゲイン、レッドゲインを選択できます。

GAMMAは、ビデオまたは静止画システムの輝度または三刺激値を符号化および復号化するために使用される非線形演算の名前であり、USER、0.45、0.50、0.55、

0.60、0.65、0.70、0.75、0.80、0.85、0.90、0.95 および1.00

選択可能です。

BLUE GAINは0～100の範囲で調整できます。

RED GAINは0～100の範囲で調整できます。

LSC

レンズシェーディング補正は、画像が周辺で暗くなったりぼやけたりする現象を補正します。

ONに設定し、SCANにカーソルを移動し、Iris +をクリックしてレンズシェーディングを修正します。OFFに設定すると、LSCが無効になります。

3.8 終了

リセット

カーソルをRESETに移動し、Iris +をクリックすると、すべての設定がデフォルトにリセットされます。

保存しない

NOT SAVEにカーソルを移動し、設定を保存せずにメニューを終了するにはIris +をクリックします。

SAVE & END

カーソルをSAVE & ENDに移動し、Iris +をクリックして設定を保存し、メニューを終了します。